

本授業の主張点

児童は、だんご虫が夢の中で変身した「秋のスーパースター」を楽しく発想し、身近な材料で生き生きと表現していきます。その造形的なよさ(動きのある表現や材料の生かし方)を交流する中で、互いに身に付けた力を共有していく児童の姿をお見せします。

1 題材名 参上！秋のスーパースター ～だんご虫のゆめ～

2 題材の目標

身近な材料の感じを生かして、形や色にこだわりながら、だんご虫が変身した秋のスーパースターを楽しく表現することができる。

3 評価規準【学力デザイン レベル1より】

- だんご虫が変身した秋のスーパースターを、身近な材料でつくことに意欲をもち、生き生きと想像しながら楽しんで取り組もうとする。 【造形への意欲・関心・態度】
- だんご虫が変身した秋のスーパースターを面白い虫の形や動きを基に発想し、身近な材料を選んだり、スーパースターの形や色、ショーの演出を考えたりすることができる。 【発想や構想の能力】
- 選んだ材料の感じを生かしながら、秋のスーパースターを生き生きと表現するために、形や色にこだわって動きのある表し方を工夫することができる。 【創造的な技能】
- 互いのスーパースターを楽しく見たり、感じたことを話したりして、材料の感じ、形や色にこだわった動きのある表現の面白さ、つくった人の思いに気付くことができる。 【鑑賞の能力】

4 題材設定の理由

(1) 児童の実態

本学級の児童は、図画工作に対する関心が高く意欲的である。これまでに紙粘土や箱、ストロー、スポンジ、プラスチック容器といった色々な材料を使って表現してきた。そのため、表現したいものに合う材料を自分で考えて選ぶことができるようになってきた。

児童は、生活を振り返ったり季節感を味わったりして、思いを込めて発想する題材に取り組んできた。「パワーアップ2年生！カラフル36たんじょう日ケーキをつくろう」では、成長した自分を振り返り、これからの自分の夢や目標を、紙粘土やスポンジなど自分で選んだ材料を使って、形や色を工夫してケーキに表現した。また、梅雨の時期には、雨粒の物語である「しずくちゃんの大ぼうけん」を絵で表現した。どこにでも流れていく雨粒の様子から自由に発想し、用紙の大きさも画自分で選んでのびのびと表現することができた。7月には、佐賀大学の美術館オープニング企画展とコラボレーションし、段ボールの巨大だんご虫とふれ合ったあと、約8m×2mの大きな紙に独りぼっちの巨大だんご虫のために仲間を描くという「だんご虫活動」を行った。

これらの題材を通して、児童は、身の回りの様子や身近な自然から発想することを経験してきた。そのため、秋のスーパースターである想像上の虫を身近な材料でつくことに興味をもち、喜んで表現することができるであろう。

児童は2年生になってから、題材途中と終末での鑑賞交流の時間に、「学びのアルバム」を活用した自己評価・自己分析をふまえた相互評価・相互分析を行ってきた。まだ個人差があるため、教師と共に自分たちの表現の過程を振り返り、そのよさを感じ取り、その理由を考えていく中で、自分の学びの高まりを実感できるようになってきた。こうした活動を通して、自分の学びを客観的にとらえ、互いの学びを共有することができるようになってきている。

(2) 題材の意義

本題材は、身近な虫であるだんご虫が、夢の中で秋のスーパースターに変身してみんなの人気者になったという物語を聞いた児童が、変身した秋のスーパースターを想像してつくるという楽しい造形活動である。新聞紙を丸めたものを芯材に、これまで経験した身近な材料を思い起こし、つくりたい秋のスーパースターに合うものを選んで使いその特徴を感じながら表現できる題材である。

秋のスーパースターは、だんご虫の夢であり、変身した姿である。児童は、そのストーリーにわくわく感を感じ、自由に想像を広げて表現するであろう。また、身近な材料がもつ特徴から思い付

いたり、感じたこと、想像したことを楽しみながら表現したりする力を身に付けることができると考える。ここで身に付けた力が、学力デザインレベル2「表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かして使う力」につながることを期待する。

鑑賞交流では、だんご虫の夢を楽しく想像し、生き生きと表現した互いの作品のよさを出し合うことを通して、自らの学びを客観的にとらえてほしい。また、材料の感じや形や色、虫らしい動きの面白さをどのように表現していったかという互いの学びを共有していくことができると期待する。

(3) 指導上の留意点（視点の具体化の側面から）

本視点では、自己評価・自己分析した互いの学びを「学びのアルバム」を活用して交流する場面を設定し、相互評価・相互分析していく。その際、グループや学級全体で互いの学びを共有する中で教師と共に、身に付けた力を意識付けていく。

以下、主な相互評価・相互分析の場面を示す。

《感じる・見つめる・想う段階》

だんご虫の夢と変身した姿を想像し、どんな形や色のスーパースターにしたいかを、アイデアスケッチしていくように促す。その際、2年生でも思い通りに形成でき、他の材料との接着もしやすい新聞紙を丸めて芯材にし、表現していくことを伝える。

これまでの学びを振り返って、秋のスーパースターに使いたい材料やその特徴を生かした表現の仕方を考えさせ「学びのアルバム」に記録するよう促す。それを学級全体で出し合い、自分の表現の見通しをもつことができる場を仕組む。

《表す段階》

秋のスーパースターの面白さやスーパースターらしい生き生き感が伝わるように形や色にこだわっているか、材料の感じを生かした表現ができたかを表現途中で振り返らせ「学びのアルバム」に記録するよう促す。そして、シールを活用しグループで互いの表現のよさを出し合う場を設定する。その後、教師が学級全体で相互評価・相互分析の観点となるキーワードを児童の発言の中から導き出し、それを造形的なよさの2観点（形や色にこだわった動きのある表現の面白さ・材料の使い方の工夫）で分類しながら共有できるよう支援する。そうして、2年生で身に付けさせたい5つの力と照らし合わせながら身に付けた力を自覚させていく。

《鑑賞する段階》

互いの秋のスーパースターの面白さや、つくった人の思いに気付くことができるように『参上！秋のスーパースター・ショー』を開く。その際、ステージの飾りや参上のさせ方を工夫し、互いの作品をグループ間で評価し合う場を設定する。よさを出し合うときは、付箋紙にその理由まで書くようにし、「学びのアルバム」に蓄積していくよう促す。更に、学級全体での交流の場を仕組み、児童の発言から導き出したキーワードを基に分類し、児童が互いの学びを共有できるよう支援する。

5 指導計画（全7時間＋生活科）

段階	時	主な学習活動（太枠：視点）	指導上の留意点（○） 重視する評価規準（◆）	評価
生活科		○ 「秋を見つけよう」という活動で、身近にある秋を見つけ、虫や植物とふれ合う。 ○ 秋の虫の中でスーパースターといえどどんな虫か想像し、アンケートに記入する。 (カブト虫、こおろぎ、とんぼ、バッタ 等)		
感じる ／ 見つめる ／ 想う	1	○ だんご虫の夢の話聞き、だんご虫が変身した秋のスーパースターを身近な材料でつくることを知る。 【見たこともない面白い虫にしよう】 【強そうなかっこいい虫がいいな】 【だんご虫の丸さも残そうかな 等】	○ 子どもたちからはスーパースターとされていないだんご虫が、秋のスーパースターに変身した姿をわくわくして想像できるように話をする。 ○ 児童が想像力を働かせて自由にアイデアスケッチしていくことができるように、スーパースターらしさを出し合う場を設定する。	関 発
	2	○ つくりたい秋のスーパースターのアイデアスケッチをする。 ○ 芯材にする丸めた新聞紙や使いたい身近な材料の感じや特徴、できそうな表し方を出し合う。 【学びのアルバム活用】 今までの経験を思い出し、使いたい材料の感じや、形や色の面白さ、表現の仕方を出し合い、それぞれのよさを感じ取る。	◆ 秋のスーパースターを、身近な材料でつくることに意欲をもち、生き生きと想像しながら楽しんで取り組もうとする。 ○ 集めてきた材料を紹介し合い、どんな表現ができそうかを考え「学びのアルバム」に記録するよう促す。 ◆ つくりたいスーパースターに合う材料を選んだり、表したいスーパースターの形や色を考えたりすることができる。	

<p>表 す</p>	<p>3 4</p> <p>○ 新聞紙を丸めて土台にし、自分で選んだ材料を使い、秋のスーパースターをつくる。</p> <p>○ 本時の活動で思い通りにできたところや表現のよいところを見つける。</p> <p>【学びのアルバム活用】 本時までの活動の中で、表現の面白さや工夫点を見つけ、身に付けたい力を基に、どんな力を使ったのかを意識する。</p> <p>【鑑賞交流（相互評価・相互分析）】 互いのスーパースターのよさを出し合い、動きを感じる表現について話し合う。</p> <p>5 (本時)</p> <p>○ 面白い動きのある秋のスーパースターになるように、仕上げをする。</p> <p>○ 互いの秋のスーパースターの造形的なよさを出し合う。(グループ→全体)</p> <p>〈造形的なよさの観点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形や色にこだわった動きの面白さ ・ 材料の使い方の工夫 <p>【鑑賞交流（相互評価・相互分析）】 本時までの活動を「学びのアルバム」を活用しながら振り返る。その中で造形的なよさを出し合いキーワードを導き出し、教師と共に分類しながら、どんな力が身に付いたのかを共有し、身に付けた力を意識する。</p>	<p>○ まず、つくりたい虫の土台を新聞紙を丸めて表し、そこから各自で選んだ材料を使って表現をしていくように促す。また、丸めて形成した新聞紙の補強の仕方をいくつか紹介する。</p> <p>○ 選んだ材料の感じを生かしながら表現できるようにいくつかの材料を使って表し方の例を示す。</p> <p>○ 自分の表現のよさを見つけることで、自信をもって次の表現ができるように励ます。また、鑑賞交流の際に、面白い動きのある表現をしている児童の作品を取り上げ、どんなところに動きを感じるのかを話し合う場を設定する。</p> <p>◆ 選んだ材料の感じを生かしながら、秋のスーパースターを表現するために形や色にこだわって表し方を工夫している。</p> <p>○ 意欲を高めるために、自分がつくる秋のスーパースターのよさが更に引き立つように仕上げ、だんご虫を生き生きと変身させようと声をかける。</p> <p>○ 本時にどんな仕上げをするかの見通しをもつことができるように、前時の鑑賞交流で話し合った面白い動きのある表現について「学びのアルバム」等を活用して振り返る場を設定する。</p> <p>○ 「学びのアルバム」を活用して自己評価した後、グループ内でシールを使い造形的なよさを出し合う場を仕組む。その後、教師が児童の発言からキーワードを導き、身に付けた力を共有化していくための支援をする。</p> <p>◆ 秋のスーパースターを生き生きと表現するために、形や色にこだわって面白い動きのある表し方を工夫することができる。</p>	<p>技</p> <p>技</p>
<p>鑑賞する／活用する</p>	<p>6</p> <p>○ 秋のスーパースターを楽しく鑑賞するため、『参上！秋のスーパースター・ショー』の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住む場所ごとにグループをつくり、夢のステージを演出する。 ・ 参上の仕方を考える。 <p>7</p> <p>○ 『参上！秋のスーパースター・ショー』を開き、互いの作品を鑑賞する。</p> <p>【鑑賞交流（相互評価・相互分析）】 感じ取った互いの秋のスーパースターの楽しさ面白さ、なぜそう感じたのかという理由を出し合う。その中からキーワードを導き出し、教師と共に分類しながら、どんな力が身に付いたのかを共有し、身に付けた力を自覚する。</p>	<p>○ 形や色にこだわって表現した虫の動き、表現したいスーパースターのイメージを意識してショーで見せられるように、住む場所ごとにステージを表現しようと提案する。</p> <p>○ 自分がつくった秋のスーパースターの造形的なよさを自信を持って紹介できるように、「学びのアルバム」を見直し、本題材で身に付けた力を意識付ける場を設ける。</p> <p>○ 改めて互いのスーパースターの面白さや住む場所ごとの演出の楽しさを感じ取るために、よさを出し合う鑑賞交流を仕組む。また、児童の発言から導き出したキーワードを基に分類し、児童が互いの学びを共有できるよう支援する。</p> <p>◆ 互いのスーパースターを楽しく見たり、感じたことを話したりして、材料の感じ、形や色にこだわった動きの面白さ、つくった人の思いに気付いている。</p>	<p>鑑</p>
<p>課外</p>	<p>○ 「参上！秋のスーパースター」を佐賀大学美術館に展示し、アンケートで声を集めたり、「学びのアルバム」にその反応を記録したりする。</p>		

5 本時の指導（本時 5 / 7）

(1) 目標

変身しただんご虫が生き生きと輝く「秋のスーパースター」になるように、形や色にこだわって動きのある表現を工夫することができ、互いのよさを認め合うことができる。 【創造的な技能】

(2) 展開

太枠：視点

学 習 活 動	教師の働きかけ（○）と 形成的評価（◆）						
<p>1 前時までの活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ材料のよさ ・動きを感じるような形や色 <p>等</p> <p>2 本時の見通しをもつ。</p>	<p>○ 秋のスーパースターのよさをもっと表現したいという意欲をもって活動できるように、以下の観点でよく表現できている作品を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色から動きや表情の面白さが感じられる ・材料の感じがよく表れている 						
<p>テーマ： 参上！秋のスーパースター ～だんご虫のゆめ～ めあて： へんしんしただんご虫がかがやく「秋のスーパースター」になるように、形や色にこだわって、うごきのあるあらかたをくふうしよう！</p>							
<p>3 「学びのアルバム」を活用しながら選んだ材料や表し方を見直し、形や色にこだわって動きのある表現を工夫してつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《予想される児童の姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足は、少し斜めに付けた方が歩いているようで面白いかな。 ・羽が羽ばたいているように何枚かずらしてつけよう。 ・新聞の丸め方を変えて太さが違うようにすると力こぶみたいで強そうだな。 ・目玉の置き方を工夫して、きよろきよろ動いているようにしよう。 ・はっきりした色にして、明るい女王様みたいな虫にしよう。 ・ねじって曲げてつけると、くるくる回っているように見えるかな。 ・眉毛をつけると面白い顔になるな。 等 </div> <p>4 「学びのアルバム」を使って自己評価をする。</p>	<p>○ 前時に選んでいた材料やそれを使った表し方を見直し、本時の表現の見通しをもつことができるように、「学びのアルバム」を活用することを奨励する。</p> <p>○ 本時のめあてを意識できるように、動きのある表現をしている児童の作品を取り上げて紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆ だんご虫が輝く「秋のスーパースター」になるように、形や色にこだわって動きのある表現を工夫しているか。 【発言・行動観察】</p> <p>A 材料の特徴を生かし、形や色にこだわって動きのある表し方を工夫し、表情豊かに表現している。</p> <p>B 形や色にこだわって、動きのある表し方を工夫している。</p> <p>→ もっと表情豊かで面白い動きのある虫になるように、材料の特徴を生かした友達の作品を紹介する。</p> <p>C 材料の特徴を生かさずに表現し、動きのある表現ができていない。</p> <p>→ 材料の特徴に気付くことができるように、選んだ材料を使って共に表現の仕方を考える。</p> <p>→ どんな動きにしたいかを尋ねながら、様々な形につくり変えたり並べ直したりして好きな表現を共に探す。</p> </div> <p>○ 自分の作品を、造形的なよさの2観点（鑑賞交流と同じ）で自己紹介をさせ、「学びのアルバム」に記録しながら本時を振り返る場を設定する。</p>						
<p>5 鑑賞交流をする。</p> <p>互いの秋のスーパースターの造形的なよさを出し合う。（グループ→全体）</p> <table border="1" data-bbox="145 1592 671 1704" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">造形的なよさの観点</th> <th style="text-align: center;">シール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形や色にこだわった動きの面白さ</td> <td style="text-align: center;">黄 色</td> </tr> <tr> <td>材料の使い方の工夫</td> <td style="text-align: center;">赤 色</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《期待される児童の発言》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙の丸め方や、ゴムで縛るところを変えているから動いているように見えるよ。 ・自信満々の表情から、だんご虫が喜んでいるのが伝わるね。目や口の形も面白いな。 ・ビニールと割り箸でつけた羽根があると、元気に飛んでいるみたいで楽しいな。 等 </div>	造形的なよさの観点	シール	形や色にこだわった動きの面白さ	黄 色	材料の使い方の工夫	赤 色	<p>○ 複数の観点で多様な価値を感じ取ることができるようにグループ（4～5名）をつくり、互いの秋のスーパースターの造形的なよさを、以下の方法で1人ずつ鑑賞交流する場を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分のスーパースターを紹介する。 ②2色のシールを用いて造形的なよさを評価する。 ③理由（どんな面白さがあり、どんな使い方がよかったのか）を伝える。 ④伝えてもらった理由（キーワード）を各自メモする。 <p>○ 造形的なよさが顕著に表れた児童2名の作品を紹介し、改めてそのよさを学級全体で出し合う場を設ける。そして、教師が相互評価・相互分析のキーワードをその中から導き出し、それを基に全体で共有しながら、児童が身に付けた力を自覚できるように価値付けしていく。</p>
造形的なよさの観点	シール						
形や色にこだわった動きの面白さ	黄 色						
材料の使い方の工夫	赤 色						
<p>6 次時は、「参上！秋のスーパースター・ショー」を開くことを知る。</p>	<p>○ 身に付けた力を意識付け、次時への意欲を高めるために鑑賞交流での考えを「学びのアルバム」に記録するよう促す。</p>						